



あしざわ ひでのり
芦澤 秀典
(明和)

環 境 企 画

異臭騒ぎに関する対応と再発防止策について

問 原因調査の進捗について。

部長 市では、通常、悪臭に起因する苦情を受け付けた場合、現場確認を行い、現場確認の結果、原因者が特定できた場合には、原因者に対して対策を行うよう指導している。指導の結果、改善がされない場合、悪臭防止法第11条に基づく測定を実施する。測定の結果、事業活動に伴って発生する臭気が規制基準に適合しない場合には、さらなる対策を行うよう指導している。

問 再発防止策について。

部長 今回の苦情の原因は堆肥の施肥で行為自体に違法性はなかった。臭いが強く感じられたことから、次回以降使用する堆肥については、現状よりも熟成期間を長くした堆肥を使用すること、施肥の際には一度に畑に入れる量を少な

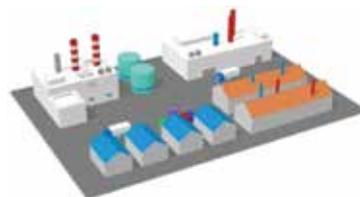
くすること及び施肥後の速やかなすき込みの指導を行うなど、再発防止に努めている。



企業団地造成計画について

問 将来の展望と市としての方針について。

部長 今回のこの工業団地の造成については、地域の経済の振興、産業の基盤の整備強化を目的にするものである。こうすることによって、道路のアクセスや市道がよくなる。また、近隣にある程度人が集まることによって、軽微かも知れないが商業地域、商業施設もある程度出てくる可能性はあるのかと考えている。



つじむら たける
辻村 岳瑠
(明和)

産 業 振 興 病 院

「川と生きる」を掲げた新たな観光施策を提案

問 他地域との差別化・競合優位性を確保するために、新たな観光施策に「川と生きる」をテーマにした、川と人を魚釣りで結びつけるという観光施策を提案する。豊かな自然を後世に継承し、地域資源を活用、観光に新たな感動を創出させる三方よしの提案である。新たな観光基本計画に川と人を結びつける観光施策について市の見解を伺う。



市長 市内には、数多くの美しい川が流れている。この豊かな自然は、本市の大きな魅力であり、観光施策や産業施策の観点からも、これをしっかり生かしていくことが重要であると考えている。特に、今後は、美しい川や自然環境をいかに活用し、地域の魅力として発信していくかが重要である。また民宿をどう活用するかも大切。そ

のためにも、川に魚がすみ、釣りなどのレジャーを楽しむことができる環境づくりが求められる。魚の放流をはじめとした環境整備について、しっかりと予算措置を講じてまいりたいと考えている。



意見 市では「清流の美」を大切にしており、その具体化が川と人を結びつける魚釣りの観光施策である。現在一つしかない芝川特定区をさらに広げていくような形で、宿泊してさらに楽しんでもらう環境づくりが必要ではないか。

新たな市立病院の在り方が示されたことを受けての、看護業務のDX推進と介護福祉士の配置を提案

問 看護DX推進と介護福祉士の配置は看護業務の能率化を図り、それが市民の医療満足度向上につながる。

部長 DXについては、協議・検討を行っている。介護福祉士の配置は、看護師の人員確保が困難になる場合には担い手として活用したい。

